

Step House ニュース

NO.14 may.2015



矯風会ステップハウス

Tel 03-3364-3133

Fax 03-3364-1866

e-mail k0101step@yahoo.co.jp

寄付金の送付先

郵便振替口座 00130-8-564245

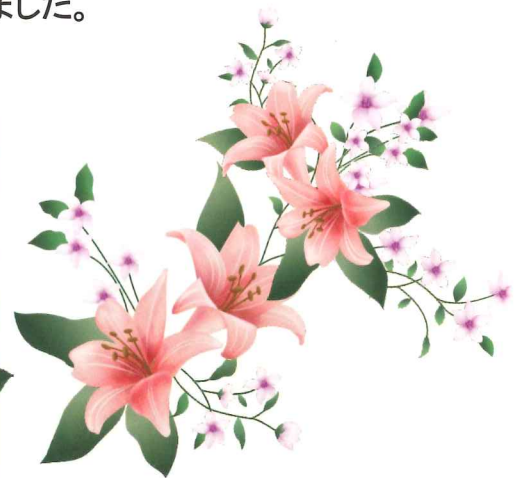
加入者名 矯風会ステップハウス

女性の人権の証人となる

ステップハウスの2代目所長東海林路得子さんが、天国に旅立ちました。
空の上から変わらぬ笑顔で私たちを見守ってください。



在りし日の東海林さんと松浦



東海林路得子(しょうじ・るつこ)

女性の家HELPディレクター、矯風会ステップハウス所長(2002年～2011年)
シェルター活動のほか、従軍慰安婦問題を取り上げる女性国際戦犯法廷を主催した「戦争と女性への暴力」日本ネットワークの共同代表も務めた。

2015年3月16日 前所長の東海林路得子さんが天国に旅立たれた。享年81歳。

矯風会での働きは約15年に亘り、女性の家HELPのディレクター、矯風会ステップハウスの所長として多くの女性たちの支援に関わられた。

2002年ステップハウスの所長になった当時、前年に施行されたDV防止法の影響で、ステップハウスはDV被害者の受け入れが大半を占めるようになった。夫による暴力被害の他にも高齢になってからの子供による暴力被害、親からの虐待等。外国籍女性の利用も恒常化し、その国籍も7か国を超えた。

一方、施行後であっても、DV被害が警察や司法の場で「夫婦喧嘩」「犬も食わない…」という扱いしか受けないなど、制度としての認知が遅れていた。DV被害を受けた外国籍女性が交番に駆け込んでも被害者保護より入管法違反の摘発が先行していた状況下で、保護施設として女性たちの人権擁護はまさに戦いであった。

「女性への暴力は社会的な性差別が支えてきたわけで、特に東京都の様にジェンダー教育を批判さえしている事実は、暴力を振るう夫に問題があるのではなくDV被害女性の側に原因があるというこれまでの性差別的な女性観を肯定させてしまい、DV対策の動きを鈍らせるのではないかと非常に危惧している」2005年5周年誌で語っている。

支援者主導の関わりを嫌い、当事者女性の主体性を尊重した。「利用者本人が、問題解決のカギを持っている」、支援者主導ではかえって女性の回復の足を引っ張ると、支援者としての立ち位置を持っていた。東海林さんの訃報は「クリスチャンとして女性の人権を守る活動に尽力」と3月18日「東京新聞」で伝えられた。本来すべての人に保障されている「人権」を「女性への暴力」は踏みじいていく。女性たちの権利の回復に「真剣に」「誠実に」、愛情をもって、共に歩まれたのが東海林路得子さんだと思う。(所長 松浦薫)

ステップハウス15年の歩み

ステップハウスは、設立から満15年を迎えることができました。
15年の歩みを支えてくれている皆さんからのメッセージをお届けします。

はじめに、ステップハウス15年の歩みを心から感謝します。5周年記念誌を読み返しますと開所当時のことが思い出されます。係わったのは開所前から短期間でしたが私の人生80年余の中で最高の恵みの時でした。

開所当日から一人二人と女性たちが入所してきました。是非この業に参加を、と申し出る助っ人と、物心両面をお支え下さった方々の真実と愛に包まれていました。

今省みればそのときの現実には課題山積。苦しみ悩みと戦っていた自分がいたのも事実でした。

あれから15年間。所長をはじめ職員やボランティア。生活を共にした女性たちが互いに愛し合うことで光を放ちました。これからもこの闇の世にあって輝き続けますように。(初代所長 柿澤 路得子)



2000年
・ステップハウス開所



2003年
・半年を越えて暮らせる
居室6つを増設

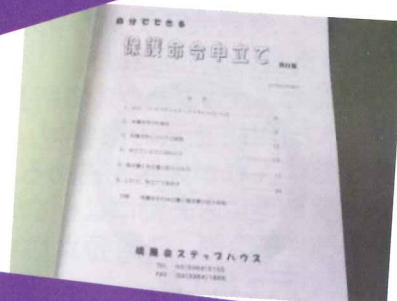


私がステップハウスで会計として働かせていただいたのは2001年10月より2009年4月まででした。所長は東海林路得子さんです。今年3月16日に帰天されましたが、私にはとても大切な出会いでした。

保護施設に始めて働く私は、場所を平気で人に知らせたりしました。注意して下さるのですが、厳しさの中にしごとに対する責任感と愛が滲むものでした。現在の所長松浦さんも、同じ責任感と愛を持って働かれる方です。その点ステップハウスは恵まれた施設です。

しかし、資金が豊かにある施設ではありません。入所者からの利用料がと寄付金が主源泉です。月末に出来る収支計算書が一番心配で、1円でも収入が多ければほっとしたものです。資金が豊かにあることが良いかどうかは分かりませんが、この文章を書きながら、資金の心配をしながら働くことの大変さを思い出しています。(元会計 間島 九子)

2005年
・読売福祉大賞受賞
・5周年シンポジウム開催

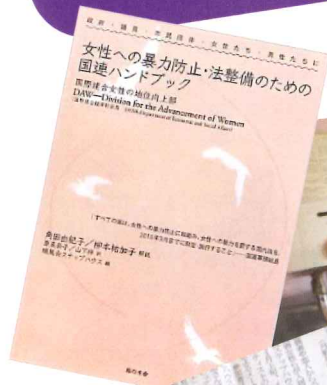


2008年
・「自分で出来る保護命令」
ハンドブック 全国2000部配布
・「アニータロディック大賞」受賞



2010年
・10周年記念
・「国連ハンドブック 女性への暴力防止・法整備のためのハンドブック」作成

開設当初は和式中心のトイレ、くすんだ壁面、古い台所の設備などに思われた鍵のかかる完全個室の提供が好評で、スタッフが手薄だったこともあって、日常生活はみんなが助け合う自主管理。ミーティングで色々なことを話合っ解決していきました。一人一人の個性がよく理解できて、支援する側との敷居が低く、悩んでいることや課題が共有しやすい関係でした。入居者の要望を受けて、年々スタッフの体制や設備が充実し改善されていきました。
安心できる再出発の場として今後も活用されていきますように、エールを送りたいと思います。(元スタッフ 高橋昭子)



2013年
・「自分で出来る保護命令」
翻訳版発売

ステップハウスの15年に感謝

開設前後の皆様の熱い思いとご苦労の一端に触れ、感動したことを思い出します。リスクを数えあげていたら、とても開設には至らなかったでしょう。初めは夜間体制もなく、初代所長には至らなかったでしょう。初めは夜間泊まっておられました。夜間のボランティアを探しているといわれたので当初少しかけお手伝いをしましたが、それが継続して施設を支える体制になったことは驚きでした。何もない所から、多くの方々の志と祈りと工夫によって、福祉の狭間の女性たちを支援する場がつくられたのでした。ステップハウス利用者の傾向を見ると、その時代の福祉の支援の足りない部分が垣間見える気がします。ちなみに現在のキーワードは「若年女性」でしょうか。

前所長の東海林さんのご葬儀での讃美歌は、東海林さんの女性たちへの想いが胸に迫り、励ましを与えられます♪風に折られしと見えし若木の、思わぬ木陰に人をも宿さん♪
(慈愛寮寮長 細金和子)



2013年
・シリーズ
「あなたのとなりに寄り添って」
支援者研修・講演会開催



2015年
・15周年！

ステップハウスで暮らした女性たち

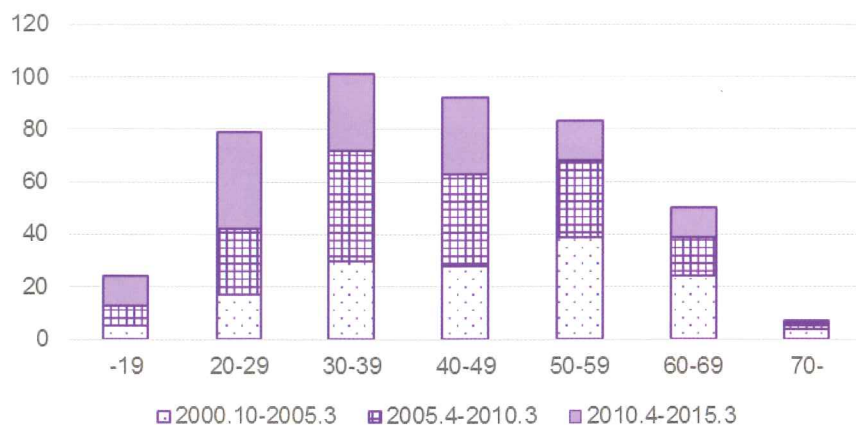
15年間で、436人の女性がステップハウスで過ごし、うち424人が退居していききました。女性たちの状況とステップハウスの支援、そして退居後の歩みを追いました。

平均年齢

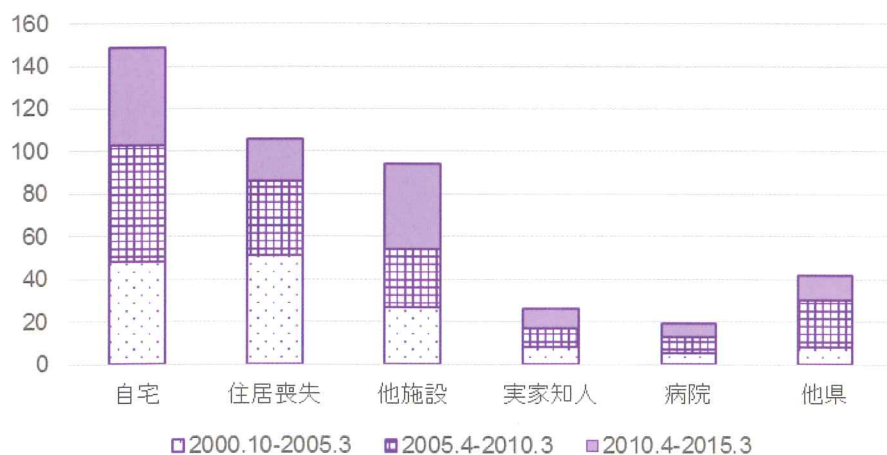
41.6歳

ステップハウス開所当時、入居の中心は30代でした。その後若年女性の入居が増え、ここ5年では入居者の28%が20代、10代も8%となっています。

入居時の年齢



入居前の居場所



自宅以外からの入居

66.1%

自宅からの入居が最も多いですが、自宅以外を合わせると、3人に2人は住まいを失っていることになります。

最近では、他施設からの入居が増えています。

入居理由がDV

50.2%

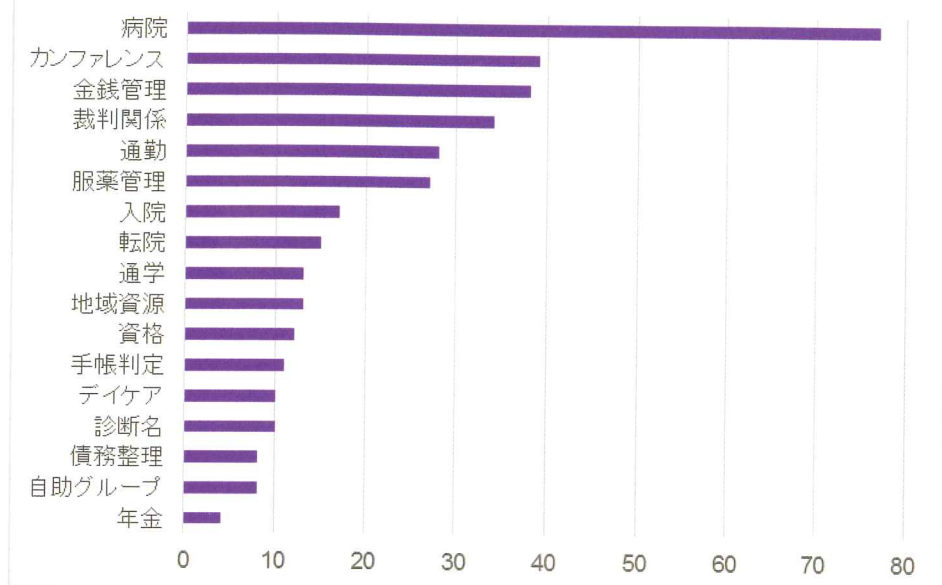
DVによる入居が、開所時から変わらず、最も多くなっています。景気が悪くなると、失業に伴う住居喪失が増えます。

最近増えているのが、病気や障がいによる入居です。

入居理由(複数回答)



入居中の支援(複数回答)



通院

57.9%

ここ5年間(2010年4月～2015年3月)に入居した133名に提供した支援は、病院をはじめ、裁判や通勤通学など、多岐にわたります。金銭管理や服薬管理等、日常生活の支援を必要とする人もいます。

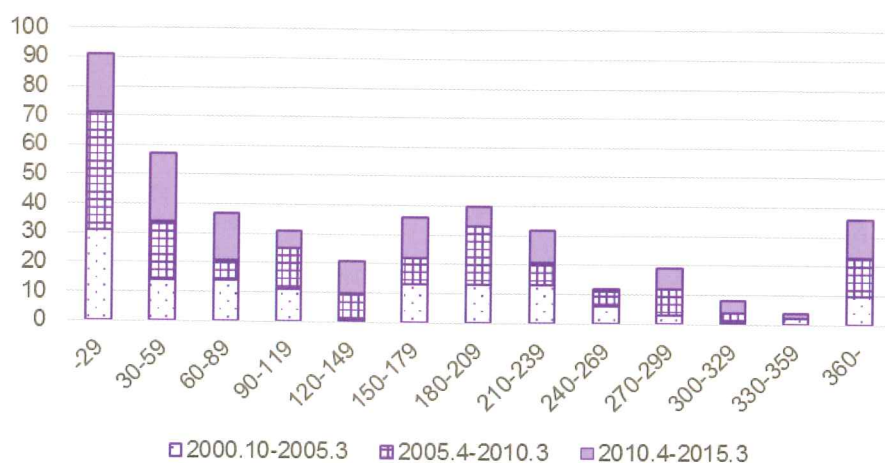
平均入居期間

155.3日

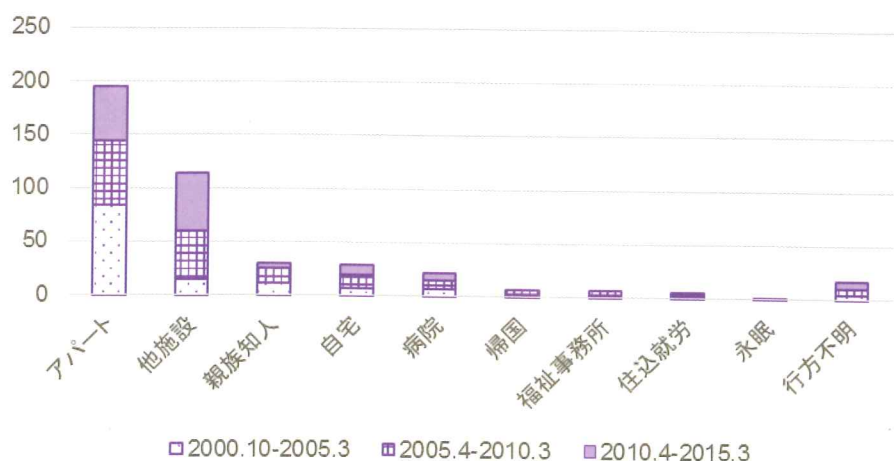
開所当時は、29日以下の短期利用が23%を占めていました。

2014年度中に退居した方の3人に1人が、6ヶ月を超えた利用となっています。

入居期間



退居後の行き先



アパートに転居

195人

開所当時は、福祉施設が少なかったこともあり、退居後アパートで一人暮らしを来る方が64%を占めていました。

その後施設が増えたこと、また複数の課題を抱えた方の入居が増えたこともあり、他施設で新しい生活をスタートする方が増加しています。

女性たちの声を届ける

困難な状況に置かれている女性たちがたくさんいます。
ステップハウスの取り組みを伝える機会を積極的に作っています。

啓発活動



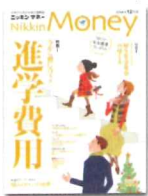
- 内閣府第2次犯罪被害者基本計画
・意見交換会に参加しました
- 法務省性犯罪罰則検討会
・ヒアリングに参加しました
- 日本聖書神学校フィールドワークゼミ
・「女性の人権」をテーマに講演をいたしました
- 帝京大学助産師学専攻科
・「ウィメンズヘルス」をテーマに講義をいたしました。
- おきなわ女性財団
・「ステップハウス運営事業」をテーマにお話いたしました。
- ひょうご風紀を良くする会
・「ステップハウスの活動」をテーマにお話いたしました。
- オリーブの会2014年度定例会
・「心に傷を負った女性の支援」をテーマに講演いたしました。
- 矯風会創立128年記念集会
・「私らしさをとりもどすー暴力からの回復ー」をテーマに講演いたしました

【講演のご依頼・お問い合わせ】

矯風会ステップハウス Tel 03-3364-3133

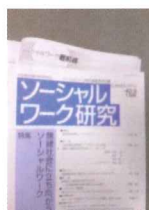
メディア掲載

■『ニッキンマネー』
2014年12月号

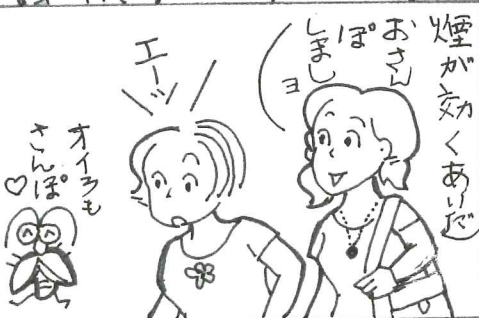
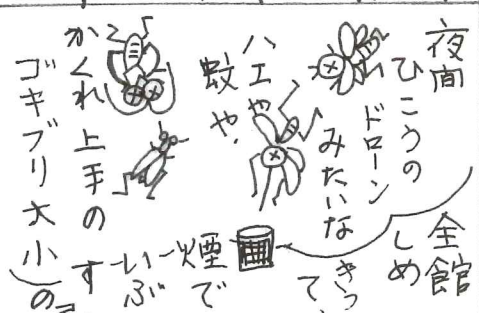


・「輝く」に施設長松浦薫のインタビュー記事が掲載されました

■『ソーシャルワーク研究』



・特集「ソーシャルワーク最前線」でステップハウスの活動が紹介される予定です。



2015. 5月. 害虫駆除おっねさん

たくさんの方が女性たちを支えています

ステップハウスの運営には、たくさんの方が携わっています。
その一つひとつによって、女性たちの日々の生活が支えられています。

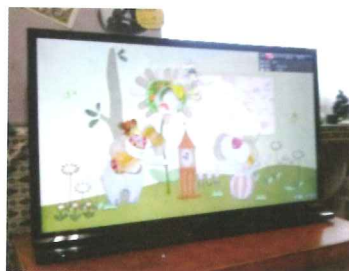
矯風会バザー

2014年度は2回開催、
売上の総額は413,713円になりました。

販売品の仕分けや値段付け、当日の販売は、
ボランティア恵の会の皆様が担ってくれています。



備品のご寄付



- 社会福祉協議会様からテレビをいただきました。
 - 個人様から大型冷凍庫をいただきました。
 - 矯風会神戸グループ様からクリスマスプレゼントをいただきました。
 - UBS証券株式会社様から多数の献品をいただきました。
 - 日本フィルハーモニー交響楽団様からクラシックコンサートご招待券をいただきました。
- 他、色々な方々からご寄付をいただいております。
ありがとうございます。

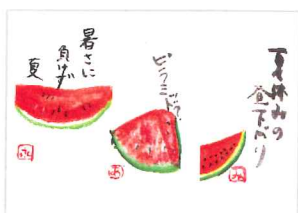
洋服ポスト

着なくなった衣服や、使わなくなった小物等を回収し、経済途上国に送っています。洋服1kgあたり10円が、私たちへの寄付になります。

2014年度に集まった衣類は5,623kg、寄付総額は49,023円になりました。



絵てがみ教室



5回開催。キモチを描こう

日本語教室



32回開催。
2015年3月に通算400回！

メイク



11回開催。田島マジックで
みんなきれいに

ヨガ



9回開催。ココロもカラダも
リラックス

ウォーキング



お花見を兼ねてお散歩

アロマ



マッサージ体験とキャンドル
づくりでリラックス

女性が笑顔を取り戻すために

ステップハウスの運営に行政からの補助金はありません。

ひとりでも多くの女性に生きる「チカラ」を届けられるよう、活動を支えてください。

ステップハウスは、 女性が抱える問題に真正面から取り組んでいます

DV(ドメスティック・バイオレンス パートナーからの暴力)。家族からの暴力。望まない妊娠・出産。望まない性産業への従事。依存症。低賃金、不安定雇用。不当解雇。様々な理由から安全な居場所を失った女性たちが生活を立て直す「場」が必要です。

ステップハウスの3つの役割

「ステップハウス」の「STEP」とは、女性たちの「Safety(安全)」「Trust(信頼)」「Equality(平等)」「Power of Recover(回復の力)」から名づけられました。

ステップハウスは、女性の人権が不当に侵害される社会課題を解決するために、3つの役割を果たしています。

安心できる
居場所の提供

暴力被害からの
心の回復のサポート

新しい生活に向けた
準備のサポート

あなたの支援が女性の生きるチカラになります

2014年度の寄付総額は、最低限の施設維持に必要な3,000,000円を大きく上回る4,873,358円となりました。心より感謝申し上げます。

物品

着の身着のままでステップハウスに入居する方は、少なくありません。特に以下の備品が不足しています。

- 小型TV
- CDデッキ
- ポット
- 目覚まし時計
- バスタオル(未使用のもの)
- 衣類(バザーで販売できるキレイなもの)

日々の営みを支える

- 日勤・宿直
 - ・日勤：土日祝日の9時～17時
 - ・宿直：17時～翌朝9時
- ※通常夜間は23時から翌朝7時までは休めます
- クラフト、スロージョグなど、入居者さんと楽しめるスキルをお持ちの方
- お掃除、洗濯・アイロンがけも助かります♪

寄付、衣類・食料等送付、ボランティア希望等連絡先

Tel 03-3364-3133 Fax 03-3364-1866 e-mail k0101step@yahoo.co.jp

【寄付金の送付先】 郵便振替口座 00130-8-564245 加入者名 矯風会ステップハウス